

回覧

大門地区衛生協議会だより

発行元 大門地区衛生協議会

事務局 大門地区センター内 電話 52-9194

(一部原文のまま掲載しています)

プラゴミ処理施設で感じたこと

会長 味澤 孝

環境問題への意識が高まるなかで、プラゴミをいかに処理するかが世界的に大きな問題としてクローズアップされています。

昨年「市衛生協議会連合会視察研修」において、前田産業(株)塩尻営業所のプラゴミ処理施設を見学させていただきました。

多くの市民の方は、自分はしっかりとプラゴミを分別して収集所に出していると考えていると思いますが、市内各所から収集されたプラゴミは処理施設のベルトコンベアー上で開封され、そこから不適合物を人間の手で分別しているのです。そして結構な量の不適合物がそこで排除されている実態に驚くとともに、その後、県段階の処理施設に移送された際に、その内容物が抽出で検査、市町村ごとのゴミの純度レベルが判定され、評点が低いと処理費用が高くなる仕組みとなっているのを知りました。

市民一人ひとりの日頃の意識が、ゴミ処理費用の軽減と、ひいては環境問題に寄与できることを目の当たりに感じた一日でした。

「プラスチックゴミ」

袋類

カップ・
パック類

ボトル類 等



今、私たちができること

副会長 小池 晴夫

私が塩尻市役所に入所し、最初の配属先が保健衛生課。担当する業務の一つとして塩尻市衛生協議会連合会事務局の仕事があり、地区会長の先進地視察に随行したことがありました。視察後、街中の立て看板を見て、地区会長の一人が、私に向かって手のひらを開いた後、OKサインを示し、「塩尻市もこれからは、これを目指さないといけない。」と話されました。何のことかと不思議がついていると、「ゴミゼロだよ。」確かに、5(ゴ)と3(ミ)とゼロ。「塩尻をゴミのないきれいな街にしたい。」と話されたことを覚えています。市民の皆さんが美化意識を持ち、努力されてきたことから、街中に落ちているゴミも当時と比べ、少ないように感じます。これからも、きれいな街づくりに努めていただきたいと思いますところですよ。

坂村真民さんの

「あとから来る者のために 田畑を耕し

種を用意しておくのだ

山を川を海を きれいにしておくのだ

ああ あとから来る者のために 苦勞をし

我慢をし みなそれぞれの力を傾けるのだ

あとからあとから続いてくる

あの可愛い者たちのために

みなそれぞれ自分にできる

なにかをしてゆくのだ」



という詩があります。

きれいな地球・地域を次の世代に引き継ぐことも私たちの役目ではないでしょうか。

田川と田川町

副会長（大門田川町支部長） 山 浦 純 一



田川町はその名前の通り田川に隣接しており、寺田橋から塩尻橋に抜ける川沿いの道は中学生の通学路、市民の皆さんの散歩道として日常生活の一部となっています。

田川町では、気持ち良い環境を守りたいという思いから、今年も田川の土手草刈りを行いました。この活動は、市の「クリーン塩尻パートナー制度」の一環として、機材の貸し出しや消耗品の支給、傷害保険への加入等の支援を受けて行っています。また、区民の皆さんにもボランティアとして協力いただいています。

地域の環境を維持するという点ではとても大切な活動ですが、田川町も区ができてから38年を経過しており、活動を維持するには課題も出てきています。最も大きな点は高齢化です。土手草刈りは斜面での作業となるため危険性が高くなります。幸いこれまでに大きな事故は起きていませんが、刈払い機での作業経験者が少ない地区のため、今後の活動維持が難しくなっていくことが懸念材料です。公的な機関による維持管理等についても検討を進める時期に差し掛かっていると感じています。

衛生部長の1年を振り返って

会計（会計（大門七区支部長）） 宮 坂 具 善

今年度一年衛生部長を務めさせていただくことになりました。一斉清掃では区民の皆様のご協力により、清掃後のすっきりとした空間を見ると、達成感や満足感を感じることができ、参加者同士の絆も深まるため、非常に有意義な活動だと衛生部長を務めたところで改めて感じることができました。

7月には「玄蕃祭り」の朝に大門地区衛生協議会役員によるミニエコ・ウォークが行われました。大門商店街から塩尻駅周辺の清掃活動をしました。全体的には日頃からの地域の皆様の清掃により予想よりゴミが少なく街がとても綺麗と感じましたが、やはり駅周辺は人通りが多いこともあり、一部のマナーを守れない人達によりタバコのポイ捨て、植込みの陰に缶や瓶などが捨てられていました。多数の方はマナーを守られているなかで、まだポイ捨てをする人がいることは残念ですが、これからは自分自身も含め一人一人が環境への意識を高めることでポイ捨てがなくなる日が来ると良いと思いました。



衛生部長になって

大門三番町支部長 等々力 和 樹

この度、衛生部長を務めさせて頂くことになりました。まず初めに、この様な重要な役割を任せて頂いたことに、心より感謝申し上げます。



私は今まで役員もしたこともなく、地域の行事もほとんど出たこともなく引っ込み思案でした。

三月の下旬、前任者との引継ぎを済ませ、四月から衛生部長になりました。最初はどの様にやればよいか分かりませんでしたが、前年度の資料を参考に半年間がたちました。

実際に、春と秋に一斉清掃を行ってきました。区の役員の皆さん、衛生班長（代表組長）の皆さん、区民の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

一斉清掃は、住民同士の交流の機会にもなり、地域コミュニティの結束を強める効果もあります。地域の皆さんと一丸となって取り組み、良い環境を築き上げていきましょう。

私自身まだ学ぶことが多く、至らない点もあると思いますが、皆さんのご意見やご指導、ご協力を大切にしながら向上を図ってまいります。これからもどうぞよろしくお願い致します。

衛生部長になって

大門五番町支部長 青 木 正

今年度から衛生部長を任される事となりました。

五月には、花による美しい環境づくりに伴う花苗の配布があり、車で取りに行き、五番町親和会の皆さんと一緒に花の植栽をさせて頂きました。

六月には、春の一斉清掃を行い、一日目に各組ごとにごみ拾い、側溝の土砂泥上げを行って頂き、二日目に区役員、衛生班長の方々に協力して頂き、一日目のごみ、土砂泥の回収に回りました。雨天決行という事もあり、雨の中の作業でしたが、無事終える事ができました。

七月には、大門地区衛生協議会役員による「ミニエコウォーク」を実施しました

十一月には、秋の一斉清掃を行い、春と同様にごみ拾い、側溝の土砂泥上げ、回収を行いました。

今まで、衛生活動にあまり関心が無かった様に思います。今回衛生部長をやらせて頂き、区が美しく保たれているのは、地域の皆さんの衛生環境に対する意識の高さを実感しました。役員さん、組長さん、区民の皆さん、ご協力ありがとうございました。

